

保育士の「こうなりたい！」を叶えるツール 昭和女子大学と初の共同研究でキャリアラダーを改訂

横浜市こども青少年局では、令和2年に連携協定を締結している昭和女子大学との初の共同研究として、「保育士キャリアラダー」（横浜市モデル 2024）を改訂しました。

横浜市では、これまでも保育士職向けのキャリアラダーを作成し、それを活用した職員の人材育成を行ってきましたが、保育ニーズの多様化やそれに伴う専門知識やスキル向上の必要性、定年年齢の引き上げ等に対応したキャリアの見直しを背景として、このたび再構築しました。

今回改定した「保育士キャリアラダー」を、横浜市で働く保育士職がキャリアの可能性を理解し、主体的に保育の専門性を高めるマネジメントツールとしての活用することで、自身の「ありたい姿」を描き、その目標に向けキャリア形成に取り組むことができる人材を育成していきます。

「保育士キャリアラダー」（横浜市モデル 2024）の特徴

POINT 1 複線型ラダー

保育士のスペシャリスト・市立保育所責任職（管理職）と、様々なキャリアの道筋を複線型で明示。

POINT 2 実践能力を5段階で表示

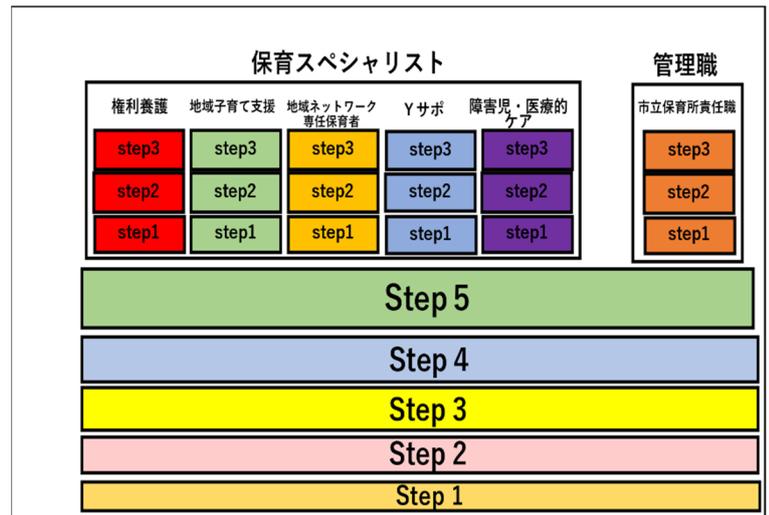
保育の実践能力を「○○できる」の表記で5段階表示。

POINT 3 色塗りで能力を可視化

身に着けた保育実践能力には色を塗り積み重ねていくことで、自身の能力を可視化できます。

POINT 4 研修体系と連動

キャリアラダーと連動する形で「保育士キャリアラダー研修・研究一覧」を作成しました。実践能力向上のために受けるべき研修が一目瞭然でわかります。



「保育士キャリアラダー」（横浜モデル 2024）のイメージ

「保育士キャリアラダー」（横浜市モデル 2024）「研修・研究一覧」はこちらから
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kosodate-kyoiku/hoiku-yoji/shisetsu/shisetsutaisaku/shitukoujou/careerladder2024.html>



※キャリアラダーとは、職務内容や必要なスキルを明確にし、はしごを昇るようにキャリア向上の道筋を示したものです。一人ひとりのキャリア形成を意識しながら、マネジメントする人材育成ツールとしても活用していただけます。

共同研究について

共同研究者



高木 俊雄 教授
昭和女子大学グローバルビジネス学部
人材育成や経営戦略に着目した産学協同プロジェクトや研究を進めている。

【横浜市と昭和女子大の協定締結について】

昭和女子大学と横浜市の「保育・幼児教育の質の向上及び大学の研究教育の充実・発展に関する協定」締結についてはこちらをご覧ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/kodomo/2020/1120showa.html>



【キャリアラダー改訂の経緯について】

詳しい改訂の経緯については、昭和女子大学現代ビジネス研究所で発行のワーキングペーパーにてご報告しています。下記、URL または二次元コードをご覧ください。

「保育士キャリアラダー」の再構築-横浜市モデル 2024 の方向性とその内容-
野澤 友美・高木 俊雄 (2024) <http://swubizlab.jp/wp/workingpaper>



昭和女子大学（概要）

(所在地) 東京都世田谷区太子堂 1-7-57
(総長) 坂東 真理子
(理事長) 山崎 日出男
(学長) 金尾 朗
(大学学部) 6 学部 14 学科
(大学院) 2 研究科 11 専攻 <男女共学>
(専門職大学院) 1 研究科 1 専攻 <男女共学>

お問合せ先

こども青少年局保育・教育支援課 人材育成・向上支援担当課長 野澤 裕美 Tel 045-671-2706